

2026年1月15日

各 位

碧海信用金庫

株式会社総合アドとの  
「へきしんサステナビリティ・リンク・ローン」の契約締結について

碧海信用金庫（理事長：深谷 誠）は、株式会社総合アド（代表取締役：小池 祥）と、「へきしんサステナビリティ・リンク・ローン（以下：へきしんSLL）」の契約を締結いたしましたので、お知らせします。

本商品を通じてお客様の脱炭素経営に係る取り組みをご支援することで、お客様と共に持続可能な地域社会の実現を目指してまいります。

記

1. 「へきしんSLL」について

本商品は、お客様がサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（SPTs）として設定したCO<sub>2</sub>排出量削減に関する挑戦目標の達成状況と融資条件が連動し、目標達成時には金利の引き下げを行う融資商品です。

信金中央金庫の組成サポートを活用し、当金庫が策定した本フレームワークは、国際的な原則やガイドラインに適合していることを、株式会社格付投資情報センター（R&I）より第三者評価を受けております。

2. 契約締結先

会 社 名：株式会社総合アド

所 在 地：名古屋市中区栄4丁目14-5 松下中日ビル7F

代 表 者：小池 祥

事業内容：LINE公式アカウントや各種WEB広告、SNSなどのWEBマーケティング戦略の企画立案・運用・デザイン作成/企業ブランディング/MEO対策/HP・LP制作

3. 契約内容

実 行 日：2025年12月30日

期 間：5年

融資金額：非公表



以 上

## 株式会社総合アド サステナビリティ・リンク・ローン概要

【株式会社総合アドの概要】

<https://www.sogo-ad.jp>

- ・株式会社総合アド（以下：当社）は昭和58年10月に設立した広告代理店。
- ・当社のブランドネームである「GOAD」とは、「Genesis Of All Dreams」の略で、「すべての夢の起源」という意味を持つ。日々、新しいものが生まれる現代だからこそ、立ち止まらず挑戦し続けるという決意表明、そして関わったすべてのお客様の夢を実現に導く存在でいたいという願いが込められている。
- ・当社は、集客・求人にまつわるあらゆる課題を抱えるお客様に対し、最適なWEBマーケティングを活用した戦略を策定。企画、デザイン、運用、分析、改善提案までを一貫して対応することにより、お客様の求める成果を長期的に獲得する仕組みづくりを構築する。

## &lt;当社の事業領域&gt;

「売上を向上させたい」「人材を確保したい」といった企業が当たり前に抱える課題に対し、幅広いマーケティング手法から最適な選択肢を提案している。また、オンラインとオフラインを組み合わせたメディアミックスの施策も得意としている。



## &lt;当社のサステナビリティ&gt;

当社では、持続可能な社会を実現するため、下記の取り組みを実践している。

## ✚ 社員のワークライフバランスへの取り組み

当社では、全スタッフの能力や興味に応じて最適な配属をし、残業をしなくともスタッフが最大限のパフォーマンスを発揮できる環境を作っている。完全週休2日制を徹底し、各スタッフの心身の健康と高いモチベーションを維持できる環境を整えている。

## ✚ 営業車両の電動化

現在稼働している営業車両のうち2/3は既に電動車両となっている。今後も隨時電動車への切り替えを行う。

## ✚ クライアントの業務改善サポート

クライアントの広告最適化、SNS運用、業務作業削減等、当社のデジタルスキルを活用した業務改善サポートを実施。クライアントの生産性向上に寄与している。

## &lt;カーボンニュートラルへの取り組み方針&gt;

以下の取り組みを推進する。

✚ 当社のサステナビリティ活動として、営業車両の電動化を隨時推進している。また、残業ゼロへの取り組みやコスト意識の浸透によって、事務所で使用する電気代の削減や移動に伴うCO<sub>2</sub>の排出削減に寄与している。今後も既存の取り組みを推進することでCO<sub>2</sub>排出量削減に貢献する。✚ Scope3へのカーボンニュートラル推進については、主にオンライン広告やLINE公式アカウントの運用、HP製作等を通してクライアントの広告活動のオンライン化を進めており、オフライン広告の新設・廃棄に伴うCO<sub>2</sub>排出量削減に寄与する。

## 【サステナビリティ・リンク・ローンのサマリ】

- ・設定したKPIは当社におけるCO<sub>2</sub>排出量（Scope1、Scope2）の削減率。
- ・設定したSPTsは2024年12月31日（2024年度）を基準日とする対比により、2030年12月31日（2030年度）にCO<sub>2</sub>排出量の削減率16.2%を達成する。
- ・基準日以降、毎年次にCO<sub>2</sub>排出量の削減率を公表し、初回判定は2026年12月31日（2026年度）に行う。

SPTsの目標値						
基準日 (yyyy/m/d)	2024/12/31		基準日時点排出量（単位：t-CO <sub>2</sub> ）			32.93
融資実行日の応当月末	2026/12/31	2027/12/31	2028/12/31	2029/12/31	2030/12/31	
基準日比削減率 (%)	2.7	5.4	9.0	12.6	16.2	

## 【SPTsの野心性】

- ・当社の目標はScope1、Scope2のCO<sub>2</sub>排出量において、国のNDC（2035年度に2013年度比60%削減）と同水準であり、野心性あるものと判断する。
- ・当社自身のトラックレコードと比較しても、今後更なる削減が必要な目標であり、野心性が認められる。

## 【SPTs達成手段】

- ・Scope1については、営業車両の電動化及びテレワークの推奨等による社員の移動効率化等によって車両によるCO<sub>2</sub>排出量の削減を推進する。
- ・Scope2については、現在のサステナビリティ活動を更に推進することで、使用電力の削減に努める。
- ・Scope3については、取引先の広告のオンライン化を推進することで、広告作成、廃棄に伴うCO<sub>2</sub>排出量の削減に貢献していく。

## 【SPTsの妥当性】

- ・碧海信用金庫は当社から開示を受けた各種資料のほか、当社との対話によるSPTsの妥当性について検証した結果、へきしんSSLのCO<sub>2</sub>排出量削減率の基準を満たすものと判断できる。

以上